

第 19 回日本血液学会関東甲信越地方会 開催報告

大会長 山梨大学医学部血液・腫瘍内科内科 教授 桐戸 敬太

2023 年 7 月 15 日に、甲府市の山梨県立図書館において第 19 回日本血液学会関東甲信越地方会を主催いたしました。本地方会は、日本血液学会関東甲信越支部が年に 2 回開催しておりますが、そのうちの 7 月の会は東京以外の地域で開催することが恒例となっております。山梨での開催は、もともと 2020 年 7 月に第 13 回地方会としての開催予定でしたが、丁度新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、度重なる非常事態宣言のただなかであり中止となった経緯があります。新型コロナウイルス感染症は、2023 年 5 月より 5 類に移行となり、コロナ以前の日常にと戻りつつあります。一方、コロナ感染症下では新たな学術集会の形態として WEB 開催が発展を遂げ、そのメリットも確立されつつあります。これより、本会も現地参加を中心としつつも WEB のメリットも活かせるように、ハイブリッド開催といたしました。その結果、当日には、現地で 200 名、WEB でも 200 名の合計 400 名の参加者がありました。演題は、若手の研修医や専攻医による症例発表が主体ですが、合計 60 題の発表がありました。それぞれ、病態整理や治療法の選択等で教育的内容に富む有意義な発表でありました。さらに、日本の造血幹細胞の基礎研究の第一人者のお一人である金沢大学がん進展制御研究所部の平尾敦教授より、「栄養代謝による幹細胞恒常性制御機構とその破綻」とのタイトルで特別講演を行なっていただきました。

山梨県は、関東甲信越地方会の中でも人口あたりの血液内科専門医の最も少ない県であり、今後の若手医師の教育・育成が急務な状況にあります。このような状況の中、山梨県で地方会を開催できたことは、若手の医師にとっても大変よい勉強の機会でありまた各地域の会員との交流を通じて様々な刺激を受けることができたのではないかと感じております。

本大会の運営にあたり、山梨医学会よりご支援をいただけたことに感謝をいたしつつ、ここに開催の報告をさせていただきます。